

(別記様式第3号)

## 論文審査の結果の要旨及び担当者

報告番号	博(医)乙第1739号	氏名	西口雅彦
論文審査担当者		主査教授	江石清行
		副査教授	河野 茂
		副査教授	澄川耕二
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価 本研究は、人工膝関節置換術後の肺血栓塞栓症発生と術中駆血帯使用との関係、また血清 D-dimer 値が術後肺血栓塞栓症の診断に有用な血清学的マーカーであるかについて明らかにしようとする臨床研究であり、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に対する評価 術前後に血清 D-dimer 値を測定し、術後に呼吸不全を認めた症候性の症例について肺血流シンチを行い、肺血栓塞栓症を診断し、血清 D-dimer 値の変動を評価し、解析したものであり、研究手法も妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、人工膝関節置換術に駆血帯を使用することは、術後の症候性肺血栓塞栓症発生と関連しており、危険因子と考えられた。また血清 D-dimer 値は、人工膝関節置換術の肺血栓塞栓症の診断に有用な血清学的マーカーであることを明らかにし、今後の術後リスクマネジメントへの応用が大いに期待される。</p>			
<p>以上のように本論文は、人工膝関節置換術後の肺血栓塞栓症発生の解明に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士(医学)の学位に値するものと判断した。</p>			

(注) 報告番号は記入しないこと。